



初中タイムス

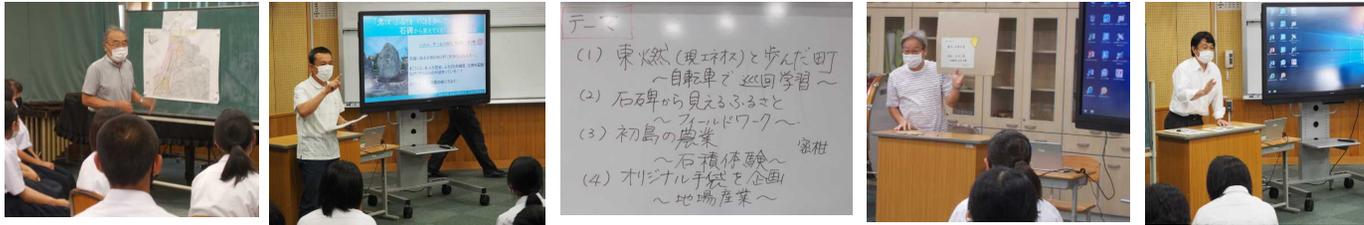
令和2年度 第7号
初島中学校学校通信
R2、9、24
発行者 出口雄三朗

「初島愛」を育てる！

初島中学校では、初島のことをもっと知り、生徒達の地元初島への愛着を深めさせようと「ふるさと学習」に取り組んでいます。有田市社会福祉協議会の宮本さんにコーディネートをお願いし、初島に暮らし初島を愛する方々のチーム「六桜花」に協力頂きながら、4つのテーマを切り口にしてふるさと初島を深く理解するという学習です。

1つ目のテーマは、初島町にあり初島町とともに歩んできた企業「エネオスJXTGエネルギー」について初島町との関わりを学んでいます。2つ目のテーマは初島に多く残る石碑から初島の歴史を探り、ふるさと初島ってどんな町なのかについて学んでいます。3つ目のテーマは初島の農業を支えてきた柑橘栽培について、とりわけ蜜柑づくりに欠かせない石積みについて学んでいます。先人の知恵と技術がつまった石積みを学ぶことで初島に根付いてきた生活や文化を深く探ります。4つ目のテーマは初島とともに発展を遂げてきた地元産業である手袋産業について学んでいます。日出手袋工業さんにご協力頂きながら、初島に育ってきた技術や文化について学びます。

まずは第一弾として、それぞれのテーマについて、何を目的にどんなことを学ぶのかについてプレゼンテーションして頂きました。



次に9月4日には、生徒達それぞれが興味を持ったテーマを選んで縦割り班を作って学習を開始しました。どれも初めて聞くことばかりでとても新鮮でした。



そして、9月11日は前の時間に学習したことをもとにフィールドワークに行きました。普段目にしているところも実は知らないことばかり…新しい発見が沢山ありました。「石積み」は実際にやってみると本当に難しかったです。農業を営む人のすごさを体感しました。



また、9月17日には初島町とともに育ってきた手袋産業の歴史について、日出手袋工業株式会社 社長 川端隆也さんのお話しをお聞きしました。もの作りに対する社長さんの熱い思いに心が震えました。



- ・「常に品質を第一に考える企業でありたい」という社長さんの口癖がとてもいいなと思いました。
- ・私も日出手袋さんのように誰かを思い、必死に願いを叶えてあげられる存在になりたいと思いました。
- ・私たちの地元にこんなすばらしい「もの作り」があることをほこらしく感じました。
- ・私の知らない初島が沢山あることに驚きました。

(生徒の感想から)

普段は考えることの少ない「税」…について考えました。

毎年夏になると「税の標語」「税の作文」の案内が届きます。そして、これを機に税について学習します。勿論、社会科でも学びます。そうした学習を補完するために、今年は和歌山税務署の広報官に来て頂いて租税教室を開催しました。

- ・この1時間の授業によって税金の見方が変わりました。学ぶことが多い授業でした。
- ・税は人のためにとっても役立っているのだから、大切にしなければ…という気持ちになり、理解が深まりました。
- ・税が私たちの暮らしに与える影響の大きさを感ずることができました。
- ・誰かのためにも、自分のためにも税金を大切にしていきたいです。(生徒感想より)

生徒達なりに学ぶことの多い時間だったようです…

